

第8回建築設備シンポジウム「環境建築の最新性能について考える Part II」

<開催主旨>

温暖化ガス排出量削減に向けて建築に必要な環境配慮・省エネルギー性能も益々高度化が進む中、より高性能な「環境建築」の実現を目指し、各方面で積極的な取り組みが展開されつつある。ゼロエミッション建築、持続可能建築、グリーンビルディング等、ひとえに「環境建築」といってもその関係する分野は多岐に渡っているし、問われている。環境配慮・省エネルギー性能には、安全・安心はもちろんのこと機能性・快適性・生産性・満足感とともに地球環境や都市環境の視点からの環境共生特性など多様な視点が含まれる。

このような背景により、本シンポジウムでは昨年の第7回に引き続き、実際の設計案件におけるZEB化への取り組みや課題を設計者から報告していただくとともに、ZEB化を進めるための要素技術に関して、各方面の専門家の方々に紹介いただき、二部構成とし、総合討論を交えながら、今後の「環境建築」の創り方、あり方を幅広く論じる。

<主催>環境工学委員会 建築設備運営委員会

日時:2012年10月19日(金) 10:00~16:45

会場:建築会館ホール

プログラム・講演者

司会:郡 公子(宇都宮大学)

主旨説明:羽山 広文(北海道大学)

10:00-10:05

(1) 第1部 「話題の環境建築に学ぶ」

1-1 福山市学びの館ローズコム 水出喜太郎(日建設計)

10:05-10:25

1-2 丸の内パークビル 高瀬知章(三菱地所設計)

10:25-10:45

1-3 東工大環境エネルギーイノベーション棟 塚本由晴(東工大)

10:45-11:05

1-4 日産グローバル本社 白川裕信(竹中工務店)

11:05-11:25

1-5 清水建設新本社 高橋満博(清水建設)

11:25-11:45

1-6 午前の部 総合討論 進行 石野久彌(首都大学)

11:45-12:30

(2) 第2部 「ZEB 要素技術を学ぶ」

2-1 ZEBの動向 川瀬貴晴(千葉大学)

13:30-13:45

2-2 BIM/シミュレーション技術とフロントローディング 樋山恭助(東京大学)

13:45-14:00

2-3 意匠設計者から見たZEBの可能性 鈴木隆(日建設計)

14:00-14:15

2-4 ファサードデザインと省エネルギーの融合 伊藤誠之(三菱地所設計)

14:15-14:30

<休憩>

14:30-14:40

2-5 太陽熱利用、コージェネレーション 今成岳人(東京ガス)

14:40-14:55

2-6 店舗建物における省エネと快適性を両立させた照明制御 日高優(パナソニック)

14:55-15:10

2-7 ICT、スマートグリッド 中野幸夫(電中研)

15:10-15:25

2-8 地中熱利用と多機能ヒートポンプ・デシカント換気空調システム 長野克則(北海道大学)

15:25-15:40

2-9 午後の部 総合討論 進行 柳井崇(日本設計)

15:40-16:35

まとめ:羽山 広文(前掲)

16:35-16:45

定員:220名

参加費(資料代込・当日徴収):会員:2,000円, 会員外:3,000円, 学生:1,500円

申込方法:E-mailにて「催物名称、氏名、会員種別(会員番号)、勤務先名、電話番号、FAX番号、E-mail」を明記のうえ申し込んでください。定員に達した場合のみ、お断りのご連絡を差し上げます。

申込み・問合せ:事務局研究事業部 榎本 E-mail:enomoto@aij.or.jp